

消毒用アルコール不足に対する対応方法について

新型コロナウイルス感染症の影響で消毒用アルコールが入手困難となっており、弊社洗浄消毒機 ESR-100、ESR-200 に使用するアルコール、およびスコープのアルコールフラッシュが出来ない場合の代替方法をご案内します。

1. アルコールフラッシュに使用するアルコールの適用拡大 ※

従来から推奨している消毒用エタノールに加え、イソプロパノール 3.7%含有消毒用エタノール、ユーカリ油添加消毒用エタノールについてスコープへの影響が無いこと、弊社洗浄消毒機が正常に動作することを確認しましたので、いずれかをご使用ください。これ以外のアルコールを使用する場合はお客様の責任の下でお願いします。

一般名	消毒用エタノール	イソプロ 3.7%含有消毒用エタノール	ユーカリ油添加消毒用エタノール
組成	エタノール 76.9～81.4Vol%	エタノール 76.9～81.4Vol% イソプロパノール 3.7Vol%	エタノール 76.9～81.4Vol% 日局ユーカリ油 微量

2. アルコールフラッシュが出来ない場合の代替方法

「消化器内視鏡の感染制御に関するマルチソサエティ実践ガイド」では、アルコールフラッシュは推奨度 I (必須の事項) ですが、目的は消毒ではなく乾燥です。適切な洗浄消毒工程を実施すれば、アルコールフラッシュをしない場合でもリプロセスは達成可能です。洗浄消毒機によるアルコールフラッシュが出来ない場合は以下の方法で乾燥を促進させてください。

(1) フタラール、過酢酸を使用の施設向け (①～④の以下のいずれか) ※

- ① 洗浄消毒工程とは別に洗浄消毒機の送気を 10 分程度実施し、水分を排出する。
- ② スコープに用手用洗浄アダプターを接続して、各管路にシリンジで空気を送り込み水分を排出する。
- ③ エアガンはある場合には、エアガンで各管路の水分を排出する。
- ④ ①②③以外の方法として、管路別に以下の方法で水分を排出する。
 - a) 送気送水管路 (以下のいずれか)
 - a-1). スコープを光源装置に接続し、送気ポンプを利用して水分を排出する。
 - a-2). ENDO PUSH (専用の圧縮空気缶ツール) を使って水分を排出する。
 - b) 吸引管路
 スコープの吸引口金に吸引チューブを接続し、吸引設備の吸引力を利用して水分を排出する。
 但し、一般的には吸引チューブは汚染されているため接続の際には清潔なアダプターなどを中継させる。

(2) グルタラールを使用の施設向け

「内視鏡の洗浄・消毒に関するガイドライン(第 2 版)」によると、グルタラールは抗酸菌などの殺滅に不適でありアルコールと併用することでリプロセスを達成できます。グルタラールによる消毒、すすぎ後には毎回アルコールフラッシュを実施するか、フタラール、過酢酸への切り替えをお願いします。フタラール、過酢酸へ切り替えた際には、上記(1)の対応をお願いします。

注意：管路内残水による微生物の再汚染が懸念される場合には、スコープ使用前に再度、洗浄消毒してください。

以上